

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年4月9日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675200192
法人名	有限会社 福寿
事業所名	グループホーム 小山田の里
所在地	鹿児島県姶良市加治木町小山田1419番地1 (電話) 0995-62-7800
自己評価作成日	平成25年12月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年3月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に密着した施設を目指し、行政・姶良市地域包括支援センターの助言等いただきながら積極的に地域との交流に取り組んでいる。家族会・保育所・小学校・中学校・地域住民・ボランティアの皆様の協力を得、グループホームではあまり取り組んでいない当施設主催の夏祭り等を行っており、地域行事の一環として根付いて来ている。開放的な施設作りに取り組んでおり、全体的に開放感があるホームである。自分らしさを大切にし、ゆったりと自由に生活していただける対応に心がけている。利用者・職員が常に寄り添いの関係作りが進められている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、加治木町郊外の田園地帯に立地し、広々とした敷地内に様々な花木や果樹が植えられ、花や果物の収穫をしたり四季を楽しめる環境になっている。年々外出が困難になる利用者が増えているため、敷地内にそうめん流しの設備を作ったり、見晴台を作つて遠出をしなくても楽しめるように工夫している。
- 地域との交流に積極的に取り組み、ホームの夏祭りが地域の行事として親しまれている。近隣住民と、災害時だけでなく、日頃から利用者の見守り等の協力関係が築かれている。
- 地域住民との交流が多く、地域に開かれたホームで、敷地内に系列のレストランがあり、地域住民や利用者も家族と食事を楽しんだりしている。
- 消防署の指導で応急措置やAEDの取り扱い方法などを学習し、実際に毛布を用いての避難誘導訓練を実施している。玄関にAEDを置いている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所として基本理念を掲げ、地域との関わりの重要性を強調している。(自分を愛し、人を愛し、自分らしく、ゆったりと楽しく暮らしましょう。)	基本理念は職員全員で、地域密着を重視したわかりやすい言葉で検討・修正し、ホールに掲げ便りにも掲載している。職員会議で理念の確認を行い実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所の夏祭りには、自治会をはじめ地域の方々に参加して頂き、小学校の行事にも多くの入所者が参加したり、逆に小学校からの訪問があったり、自治会の清掃活動にも参加させて頂いている。	自治会に加入し役員を担い地域の奉仕作業にも参加し、近隣住民からの差し入れや声かけなどがある。ホーム主催の夏祭りには地域住民の多くの参加がある。小・中学校との相互交流等、積極的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の人々のために、高齢者介護や介護予防、認知症の理解等に着いて、地域包括支援センターと協力して、地域支援事業に参加している。また、地域交流事業に取り組み、3回／年計画実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月／1回開催し、利用者の状況やサービスの取り組み、また施設行事の実際を報告している。そこで頂いた意見については、施設に持ち帰り、皆で検討しサービス向上に生かすように取り組んでいる。	会議は定期的に開催し、ホームの状況及び行事報告や小山田の里便りを配付し、参加者からも出された要望等について活発な意見交換をしている。取り組みとして応急措置についてやAEDの取り扱い方法などを消防署の指導で講習会を実施している。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	ケアサービス等についての疑問があるときには担当者に連絡を取っている。	市担当者とは日頃から報告や相談等を行い、指導やアドバイスを得ている。地域包括支援センター主催の徘徊模擬体験や家族支援事業に協力する等、日頃から協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的には身体拘束は行っていない。また身体拘束をしないケアについての勉強会を実施している。	身体拘束廃止についての勉強会を実施し、言葉使いについては、上からの目線や思いの制限をしないよう、取り組んでいる。合同職員会議や各ユニットでのミーティングで振り返りを行っている。日中、玄関の施錠はせずに、外出希望の利用者は職員の目配りや連携プレーで対応し、近隣住民の協力も得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待についての勉強会をおこない、利用者一人ひとりを尊重し、虐待は絶対行ってはいけないことを、全職員が周知している。			
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する勉強会を開催している。必要なケースがないこともあり、一部の職員は理解していない。			
9	○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には、事業所の介護に対する考え方や取り組み、また退所時のフォロー等、事業所の対応について説明し、同意を得ている。			
10 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々の対応の中や、運営推進会議等において入居者やご家族の意見・苦情等を発信していただく場を設けており、できる限りの対応を実践している。また、受付窓口にはご意見箱を設置しており、無記名で自由に書いて頂けるようにしている。	利用者とは生活の中で思いを聞いている。家族とは面会や運営推進会議時に職員から声かけして、状況報告をすると共に要望等を聞いている。ユニットと別棟の事務室でも個別に対応し要望等を聞き、内服管理についてやフロアに利用者が花を飾る等、運営に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	常日頃より、自由な意見が出せるような雰囲気作りに心がけている。また、職員会議やミーティングにて意見や提案をだし、検討している。	ミーティングや毎月の職員会議時に意見や提案等を聞いて、意見等が出やすい雰囲気作りに努めている。個人的にも意見を聞き、備品購入や食事の献立作成について・ホーム便りのサイズを工夫するなど反映させてい	る。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人面談を行うことで職員個々の勤務状況を理解できるように努め、反映できるよう努力している。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に参加を促し、勤務上での研修参加も実施。また、働きながらの資格取得にも参加させている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム協議会に加盟し、積極的に勉強会や交流会への参加を行っている。またそこで得た知識を持ち帰り、施設内での報告や勉強会に活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>情報提供書の活用、本人・ご家族との事前面談等を行い、アセスメントを行い、両者の不安解消、関係作りを行っている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>上記のこととに加え、利用者が介護状態になったことに対するご家族への影響、介護に対する想いに耳を傾け、一緒に解決していくようにしていくことで対応している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談の内容を的確に判断し、必要な情報を提供し、すぐにできることは関係機関と連絡を取りながら実施している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者一人ひとりは、人生の大先輩であり、またそれぞれの立場で仕事をしてきたことを念頭に置き、本人の残された能力を生かし、一緒に作業したり、会話を楽しんだりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19	○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	上記と同様、職員とご家族は一緒に利用者を支え、お世話していくとの気持ちで、連携をとりながら、悩みや思いを共有している。			
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事への参加、故郷訪問等の実施、また友人・知人などの訪問をご家族に依頼するなど、今までの関係が途切れることのないように配慮している。また可能な時は、自宅訪問を実施。	これまでの経験を活かし畠に出かけたり梅ちぎり等の果樹の収穫をしている。地域の祭りなどにも参加し、本人の希望で自宅訪問や墓参り等へ同行支援したり、家族の協力で法事等に出席する等、これまでの生活や関係が継続できるよう支援している。		
21	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支ええるような支援に努めている	利用者一人ひとりの能力に応じた作業を共に行えるようにしたり、また気の合う人との会話ができるように座席を考慮したりして共生しているとの思いが感じられるように配慮している。			
22	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	諸般の事情により退所された方にも、利用者と共に面会したり、可能な限り相談に対応している。また、入所の際、退所後のホローについても可能な限り対応することをお伝えしている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者の希望、気持ち、思いを尊重し、またご家族とも充分に相談した上で、ご本人にとって最良の方法支援を検討している。</p>	<p>日常のケアの中で、会話や行動・表情の変化から思いや意向の把握に努めている。生活歴等の情報を参考に検討している。意思疎通が困難な場合は家族からの情報や生活歴・病歴・現状から、本人中心の支援ができるよう支援している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時、ご家族にこれまでの暮らしぶり、生活歴等を詳細にお聞きすると共に、情報提供所書や関係者から情報を得るなどして把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者の日々の生活を観察しながら、心身状態の変化や、個々の持てる能力を見極めている。</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者、ご家族との関わりの中において互いの思いを受け止め、計画に反映させている。また必要に応じてモニタリング・評価等職員間で意見交換を行い介護計画に反映させている。</p>	<p>日常の関わりの中で把握した、利用者及び家族の要望等を取り入れ職員のケース会議で検討して、介護計画を作成している。ケース会議でモニタリングを月1回実施し、6ヶ月毎に見直しを行い、状況の変化時に必要に応じて見直している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状況の変化は、個々のケア記録に記載しており、職員間の情報の共有を行っている。それに基づき計画の評価・も直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者・ご家族の要望に応じて、自宅訪問、病院受診・買い物等の外出・散歩介助などできる限りの支援を行っている。また、必要に応じて情報提供を行い、介護保険との併用サービスができるよう支援している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して生活できるよう、運営推進会議を利用して定期的に民生委員とは話し合いの場をもうけ、またボランティア・警察・消防・教育機関等とも連携をとり協力しながら支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は本人・家族の希望を受け入れている。家族の支援の得られる場合は受診を依頼し、また、受診が不可能な利用者については、往診のできる医療機関を紹介し、異常時には随時往診が可能な体制を整えている。	かかりつけ医は本人及び家族の希望の受診としており、家族対応での受診を基本としている。24時間医療連携体制を整えており、健康管理及び適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	事業所には数名の看護師の資格を有する職員がおり、状態変動時には相談しながら対応している。また医療連携により、必要に応じてかかりつけ医の看護師とも連絡相談を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院時には本人に関する情報を医療機関に提供し、医師・医療相談員・看護師と相談しながら、家族と連絡をとり、退院支援を行っている。また必要時は、かかりつけ医から、紹介状を書いて頂く等、関係構築に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	重度化した場合や、ターミナルケアについてはご家族や医療機関と考え方や、対応を良く話し合い、ご家族の希望される方向で対応している。また、職員間でも話し合いを持ち、できることをご家族に説明し、同意を得た上で対応している。	契約時に重度化等の場合の事業所の方針について説明し、同意書をもらっている。重度化した等の場合、主治医から家族へ説明し意向確認を行ない、話し合いを重ねながら、家族の意向に沿って支援している。家族と一緒に看取りの経験もある。看護師も常駐し勉強会を行い支援に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時のマニュアルを作成し、定期的に勉強会は開催しているが、訓練まではまだ行っていない。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力にて、避難訓練を実施。その際、近隣住民の方々にも協力・参加して頂き、避難誘導訓練を実施している。また災害対策マニュアルを作成している。	年2回、昼夜間想定で消防署の指導のもと、避難訓練を実施している。運営推進会議を兼ね地域住民の参加を得ている。いつでも近隣住民の協力を得られる体制にある。毛布を用いての避難誘導やAEDの取り扱い方法も訓練し玄関に設置している。非常用の食糧は同一敷地内の施設で一括管理し、水は大きいタンクに貯水している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会や会議の場において、常に、人生の先輩である高齢者に対しての言葉かけや、接遇については気をつけるように促している。	人権擁護や接遇についての外部研修会や内部の勉強会に参加し職員会議で報告し共有している。言葉かけにも配慮し、ホーム便りの写真なども家族の同意を得て掲載している。個人情報のファイルも事務所で適切に保管している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各個人への言葉掛けや、日頃の観察より、ご本人の思いや希望を、決めて頂くように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御一人、お一人のペースは考慮して支援しているが、どのように日々過ごしたいかの、自己表出ができない利用者も多く、希望に沿った支援はなかなか難しい状況である。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の衣服については本人の好みを尊重し、アドバイスしている。また散髪や髪染めについては職員が行ったり、ご家族の協力を得て利用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好を考えて一緒に献立を考えたり、食事の準備として野菜の皮むきやカット、盛り付けなど手伝って頂き、後片付け、お盆拭き、台拭きも協力して頂いている。	利用者の料理の好みや希望を聞き献立を作成している。一人ひとりの力を活かし、職員と一緒に調理の下ごしらえや後片付け・茶碗拭き等、一緒にしている。誕生会には毎月スポンジケーキを作りデコレーションを一緒にしている。保存食作りや外食等、季節毎の楽しみも取り入れている。食事は職員も一緒に食べ、そうめん流しも楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量のチェックを行い、水分については食事時と10時・3時のおやつ時には必ず水分を取って頂くように声かけしている。また状態に応じて調理法を変更したり、補水を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きの声かけや、義歯の利用者には、ご自分でできる人はして頂き、できない利用者には介助にて義歯の手入れやうがいを実施している。また就寝時は洗浄剤にて消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表の活用にて、個々のパターンに応じたトイレ誘導を行っている。また、日中はパットのみにしたり、ご自分の下着着用にて排泄の自立に取り組んでいる。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握しトイレ誘導している。日中はパットを夜間はリハビリパンツを使用し、声かけ誘導している。排泄の自立やトイレでの排泄に取り組んでおり、夜間はオムツもポータブルトイレも使用していない。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促したり、レクの時間を利用して体操を行うなど、体を動かすようにしている。また、主治医との連携で下剤の調整を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々に応じた入浴の支援している	他の業務との関連もあり、入浴日や入浴時間は原則決めている。ただし、本人・家族の都合には曜日、時間など臨機応変に対応している。	入浴は原則週3回の午前中に入浴支援している。隔日の入浴を基本にしているが、体調等を考慮して対応している。好みで入浴剤を使用し、職員とゆっくり会話しながら楽しんでいる。入浴をいやがる利用者には、時間を変える等で対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は基本的に活動することを重視しているが、体調に合わせて休息したり、昼寝の時間を設け休息できるように支援している。また、夜間の就寝時間も時間を決めずに、利用者の希望に沿うように行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケア会議を利用して、薬の目的や副作用については看護師より説明。また、随時、服薬の変更があった時は、申し送りにて情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活暦や趣味等を把握した上で、取り組みを促して見るがなかなか充分な支援はできない。散歩やドライブ等で気分転換の支援は行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散歩や2号館への訪問等外出希望時は同行支援を行っている。また学校の行事参加や花見等の施設行事、物産館への買い物等隨時支援している。またご家族に依頼してお墓参り等の支援を依頼している。	日常的に近隣の散歩や他ユニットへの訪問を職員同行で実施している。小学校の運動会の見物や市の秋祭り・希望者の買い物に出かけたり、ホームの行事で花見等を実施している。家族の協力で墓参や外食にも出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族からご本人が日常使える金銭を一部お預かりし、個々の金銭出納帳にて管理している。希望に応じて買い物など使用出来る環境にある。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話の依頼時は隨時、対応、またご家族からの電話は取次ぎを支援している。また手紙については、依頼時投函を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やホールには季節の花を生けたり、また窓のカーテンを開け、外の景色がいつでも見えるようにして、季節感を味わって頂いている。またホールから、台所が見えるようになっており、三度の食事作りの様子や、匂いで生活感が出るように考慮している。	ホールは天井が高く空の絵が描かれ明るい。利用者が活けた花や壁には季節の創作品・行事の写真が飾られている。エアコンだけでなくストーブも使用して寒さ対策がされている。ホールからウッドデッキに自由に出て、外の田園風景を眺め、鳥の鳴き声を聞き季節を感じることができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内に椅子やソファーを設置し、運動した後の休息と安全への配慮を行っている。また玄関先にベンチを配置し、それぞれ思い思いの空間で過ごせるように居場所の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が今まで使用していた家具、利用者の今までの生活スタイルを崩さないようなカーペット・ござ・机・趣味の道具などを置いている。また、家族の写真等を掲示し和みの空間を演出するように工夫している	居室のドアに、避難誘導等のため、一人ひとりの介護上の注意書きが貼られている。居室は、使い慣れたものや大切な物を持ち込み、写真や毎年の誕生日色紙が飾られて、本人が落ち着いて過ごせるように工夫されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の入り口にはご自分の名前と写真を掲示し、自分の居室がわかるようにし、また調理はテーブルで行えるように工夫し、またトイレの途中には安全を確保すると同時に動線を短くして急速への配慮を行っている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

			1 ほぼ全ての職員が
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない